

ユニバーサルデザイン理解・浸透度定点観測調査 ～「障害の社会モデル」は日本社会にどこまで浸透しているか～ 第1回調査（2017年11月実施）調査票及び単純集計結果

調査方法 調査員による個別訪問留置調査

調査対象 全国の15～79歳の男女個人 1,200人

抽出方法 層化3段抽出

【地点抽出】全国200地点を、大字・町丁目を抽出単位として、9地域ブロック×4都市規模で層化無作為抽出

【世帯抽出】全国住宅地図データベースを抽出フレームとして、各抽出地点で訪問世帯を等間隔抽出

【個人抽出】各層の母集団の性別・年代構成比に合わせて各地点で依頼回収する性別・年代を割り当てる(1地点6人ずつ)。

抽出世帯において、地点割当に合致する個人に依頼・回収する。なお、母集団は2015年国勢調査人口を用いた。

調査期間 2017年11月2日～11月14日

テーマ:「ユニバーサルデザイン」についてお伺いします

問1 下記について、あなたの考えとして、もっとも近いと思われるものに○をつけてください。(それぞれ○は1つずつ)

a) 障害の有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会を実現すべきだと思う

非常にそう思う 40.5% そう思う 34.4% ややそう思う 13.5% どちらでもない 7.5% あまりそう思わない 0.7%
そう思わない 0.3% 全くそう思わない 1.2% 無回答 2%

b) 障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう、あらかじめ都市や生活環境をデザインすべきだと思う

非常にそう思う 31% そう思う 36.3% ややそう思う 17.5% どちらでもない 10.5% あまりそう思わない 1%
そう思わない 0.3% 全くそう思わない 1.3% 無回答 2%

c) 障害のある人は、一方的に助けられるべき存在だと思う

非常にそう思う 5.9% そう思う 14.6% ややそう思う 20% どちらでもない 27.7% あまりそう思わない 15.7%
そう思わない 7.6% 全くそう思わない 6.2% 無回答 2.4%

d) 障害のある人はかわいそうだと思う

非常にそう思う 5.8% そう思う 11.8% ややそう思う 27.2% どちらでもない 26.8% あまりそう思わない 11.6%
そう思わない 6.8% 全くそう思わない 7.5% 無回答 2.6%

e) 障害のある人が困っているときには、迷わず援助できる

非常にそう思う 13% そう思う 28.4% ややそう思う 30.3% どちらでもない 18.8% あまりそう思わない 4.4%
そう思わない 1.2% 全くそう思わない 1.2% 無回答 2.8%

f) 障害のある人を自分たちの仲間に入れることに抵抗感はない

非常にそう思う 15.3% そう思う 29% ややそう思う 23.4% どちらでもない 22.2% あまりそう思わない 4.4%

そう思わない 1.9%全くそう思わない 1.5%無回答 2.3%

g) 障害の問題は、自分にはかかわりがない

非常にそう思う 2%そう思う 3.6%ややそう思う 7.8%どちらでもない 29%あまりそう思わない 18.1%そう思わない 18.1%全くそう思わない 18.6%無回答 2.8%

h) 障害は、病気や外傷等から生じる個人の問題であり、障害の原因を除去・対処するには、治療や訓練等もっばら個人の適応努力が必要である

非常にそう思う 4.9%そう思う 9.5%ややそう思う 18.4%どちらでもない 33.4%あまりそう思わない 13.8%そう思わない 9.5%全くそう思わない 8.2%無回答 2.3%

i) 障害は、個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によってつくり出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である

非常にそう思う 13%そう思う 23.3%ややそう思う 26.5%どちらでもない 27.8%あまりそう思わない 4.4%そう思わない 0.9%全くそう思わない 1.7%無回答 2.5%

注：選択肢に用いた定義はそれぞれ次の内容に従った。abcdi：内閣官房「ユニバーサルデザイン2020 行動計画」より。efg：『心のバリアフリー』に向けた汎用性のある研修プログラムの基本プログラム評価ツール『研修における評価アンケート雛形』②より。h：文部科学省「障がい者制度改革推進会議資料」より

問2 「バーゲンセールショッピングモールに多くの人を買物に来ていて、車いすのお客様、乳幼児連れのお客様が混雑の中で買物ができません。」

このようなとき、あなたはどのように考えますか。(○はいくつでも)

- 1 自分には関係ない・関わりたくない 2.3%
 - 2 車いすや乳幼児連れの方は混雑した場所に来ないほうがよい 17.3%
 - 3 車いすや乳幼児連れの人専用の買物エリアや通路、時間帯などを設けるのがよい 35.1%
 - 4 車いすや乳幼児連れのお客様の代わりに、店員が混雑した会場での買物を代行するべき 8%
 - 5 狭い通路の売り場をつくらないようにするべき 42.3%
 - 6 混雑時は、店側がお客様を順番に少しずつ店内に誘導するなど、誰もが買物できるようにすべき 45.1%
 - 7 近くにいる客として、自分が、車いすや乳幼児連れの人に手助けが必要か聞き、実行する 24.8%
 - 8 店舗の環境づくりの不備・改善点を気づいたら、気づいた自分が店舗に提案・要求していく 10%
 - 9 その他 1%
 - 10 特に何も思わない 7.4%
- 無回答 2.5%

問3 いまの日本の社会は、どの程度、「障害の有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会」を実現していると思いますか。0～10 までの 11 段階でお答えください。(○は1つだけ)

0点 全く実現していない 0.5%
1点 4.1%
2点 12.7%
3点 23.5%
4点 14.8%
5点 22.8%
6点 7.8%
7点 4.3%
8点 1.7%
9点 0.3%
10点 完全に実現している 0.3%
無回答 7.3%

問4 あなたの身近に障害のある人がいますか。あてはまるものを全てお答えください。(○はいくつでも)

家族 14.1% 友人 6% 同僚 2.8% 知人 19.9% その他 5.8% いない 57.3% 無回答 1.5%